

【件名】

なかの里・まち連携事業の見直しについて

【要旨】

開始から15年が経過した「なかの里・まち連携事業」は、観光・体験交流、経済交流、環境交流を3つ柱として、福島県喜多方市、茨城県常陸太田市、群馬県みなかみ町、千葉県館山市、山梨県甲州市の5自治体と連携して事業を実施してきたが、当初掲げた目標を達成できているとは言い難い状況である。このことを踏まえ、「中野区産業振興方針」に基づき、本年6月に当事業の見直しの考え方を整理した上で、連携自治体と意見交換を重ね、以下のとおり見直すこととした。見直し内容に基づき、今後の事業展開を明らかにしたので、報告する。

1 なかの里・まち連携事業の見直し

(1) 主要テーマの再構築

- ・当該事業を現在の区の政策課題に対応するものとする。主要テーマは、子どもたちの里・まち双方の「体験交流」と、ビジネスにつながる「経済交流」に重点を置くものとする。
- ・現在の連携自治体に対しては、体験交流の充実に向けて、子ども・区民向け事業やツアーの企画、施設利用やサービスにおける特典などの区民割、交通の確保（バス・電車やレンタカー代への補助）について協議していく。また、経済交流の充実については、区内での販売機会の確保や区内事業者とマッチングに努めていく。
- ・今後、新たに連携する自治体については、当主要テーマへの理解と協力を必須の条件とする。加えて、中野区と当該自治体とが日帰りできる距離、交通事情が担保できること、双方の自治体を訪れた際の施設利用やサービスにおける特典などを実施すること、単なる物産展の開催だけではなくビジネスマッチングへの意欲が高いことを求めることとする。さらに、政策面など中野区との共通点や親和性があることを要件とする。

(2) 他の協定との関係の整理

- ・中野区では、交流・姉妹都市、包括連携協定、災害協定や環境協定など、各目的の下、連携協定が結ばれているが、これらの協定と里・まち連携は、目的が異なるものである。
- ・今後、「なかの里・まち連携事業」において、新たに連携宣言をする場合には、防災に関する連携や環境に関する連携を引き続き促す一方、環境、防災は当連携と直接紐づくものではないこと（環境や防災に関する連携や協定は、それぞれの必要に応

じて締結できること)とする。

(3) 情報発信の強化

- ・連携自治体と中野区相互の情報について、相互の広報媒体をできる限り活用するとともに、親和性の高いイベントなどの機会を活かして、発信の頻度を高める（連携自治体における中野区に関する情報の発信頻度を高めることを積極的に促す）。

(4) 効果検証の実施

- ・なかの里・まち連携事業については、翌年度の上半期に各取組について、連携自治体を交えて効果検証を実施する。

2 今後の取組

なかの里・まち連携事業の見直しに基づき、以下の取組を進める。

(1) 令和6年度の取組

- | | |
|----------|--|
| 8月下旬～ | 連携自治体における体験事業やツアーの企画及び実施
連携自治体生産物（生鮮食材、加工品）の区への供給等検討
連携自治体による区内地域イベントへの参加、出店の企画
連携自治体による中野区での体験事業の検討 |
| 9月3日・4日 | 連携自治体による物産展（区役所1階）
区内事業者（カフェテリア「ナカノヤ」、西武信用金庫、中野酒販協同組合）と連携自治体によるビジネスマッチング
連携自治体による体験ツアーのPR（甲州市ぶどう狩りと自然散策を楽しむ日帰りツアーなど） |
| 9月6日～12日 | アンテナショップの試行（沼袋親交組合事務所） |
| 11月 | 連携自治体による物産展の開催（区役所1階）
子ども向けワークショップ「(仮)お米の文化と味の違いを学ぶ」の実施（区役所1階） |
| 令和7年3月 | 連携自治体による物産展の開催（区役所1階） |

(2) 新たな自治体（山梨県北都留郡丹波山村）との連携

山梨県北都留郡丹波山村は、本年3月に開催した中野区役所での物産展に試行的に参加し、好評であった。また、当事業（の見直し内容）への高い理解と共感を示しており、子ども向けの日帰り体験事業の相互実施や、ビジネスにつながる経済交流について積極的な意向を明らかにしている。さらに、丹波山村は、現連携自治体の甲州市と近接しており、当市と連携した取組も期待できる。よって、当事業における中野区との新たな連携先とし、取組を進めていくこととする。

① 山梨県北都留郡丹波山村の概要

人口・世帯	506人・291世帯（令和6年8月1日現在）【関東で最も小さい
-------	---------------------------------

	村（島しょを除く）】
地理	山梨県の東北部に位置。中野区とは青梅街道で繋がっている（中野区から車で2時間半程度）。
特産物	原木舞茸だし、タバジビエ鹿カレー、タバジビエ鹿そばろ、ニンニク香る味噌ドレッシング、けつっこわし、トマトみそ、生こんにゃく、わさび漬、雲取のしずく（ミネラルウォーター）、日本酒・ビール
名所・体験	丹波山温泉のめこい湯、村営つり場（魚のつかみ取り）、ローラーすべり台、森林体験イベント・林業講習イベント、キャンプ場

② 連携（宣言）日

令和6年9月4日

③ 連携による取組（予定）

- ・物産展やアンテナショップへの参加、区内事業者とのビジネス創出に向けた経済交流
- ・丹波山村における中野区の子ども向け日帰り体験事業の実施
- ・中野区における丹波山村民の日帰り体験事業の実施